

第 5 回瑞穂町図書館を使った

調べる学習コンクールに伴う研修会報告

- 1 日 時 令和 4 年 6 月 2 9 日 (水) 午後 3 時から午後 5 時
- 2 会 場 瑞穂町ふれあいセンター 1 階大会議室 (マツ)
- 3 研 修 「調べる学習作品 作品作り指導のポイント」
- 4 講 師 小畑 信夫 氏 (図書館・メディア研究所)
- 5 参加者 各小・中学校図書館司書、瑞穂農芸高教諭、瑞穂農芸高校生徒
瑞穂町図書館協議会副会長 (11 名 + 事務局 3 名)
- 6 次 第
 - ・挨拶 (瑞穂町図書館長)
 - ・講師紹介
 - ・研修会
 - ・質疑応答
- 7 研修内容
 - 「調べる学習作品 作品作り指導のポイント」
 - ・なぜ調べ学びをするのか
 - ・ミニ作品への講評
- 8 研修会の様子



9 質疑応答

・瑞穂第三小学校

① 今回の応募用紙について

回数の記載はどのようにするのか？グループ作品のほか、個人で作品を作成した場合のカウントは？

↓

2回となります。

応募回数が多いから選考に有利になるということではなく、回数を事務局で把握するためです。(事務局)

② 小学生の作品について

小学生でもパソコン作品の応募は出来るか？

↓

出来れば手書きがよい。

小学生は字を学ぶという発達段階であるため。パソコン作品の応募がダメという訳ではないが、全国コンクールの審査では評価が低い。

また、パソコンでないと作品が作れない理由があればその記載をする必要はある。
(小畑先生)